

※同封の返信用封筒(切手不要)に回答調査票を入れて
投函して下さい。

[illegible]

うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人												
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(I度・II度)	人												
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(III度・IV度)	人												
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人												
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人												
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人												
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人												
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人												
	ネブライザー	人	洗腸	人												
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人												
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人												
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人												
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人														
うち、施設・事業所が送迎した者の延べ人数(5月中)	人	1回あたりの平均送迎者数	人	送迎を行った日数	日											
うち、施設入所支援を利用している者	人															
延利用者数(5月中)	人															
居宅への訪問(5月中)	1 実績あり 2 実績なし															
支援時間別延訪問回数	~30分未満 人	30分~1時間未満 人	1時間以上~1時間30分未満 人	1時間30分以上~2時間未満 人	2時間以上~2時間30分未満 人	2時間30分以上~3時間未満 人	3時間超 人									
利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり 2 入院なし 3 把握していない															
従業者が病院または診療所を訪問し、入院期間中の被服等の準備や利用者の相談支援など、日常生活上の支援を行うとともに、退院後の円滑な生活移行が可能となるよう、病院または診療所との連絡調整を行ったケースの有無 入院日数の合計別ケース数 ※入院の初日・最終日を除いてカウントし、さい。	1 あり 2 なし															
機能訓練の実施状況(5月中の実績) ※各項目該当する数字に○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通</th> <th>問</th> <th>通所</th> <th>訪問</th> </tr> <tr> <th>1 提供実績あり</th> <th>2 提供実績なし</th> <th>1 提供実績あり</th> <th>2 提供実績なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table>	通	問	通所	訪問	1 提供実績あり	2 提供実績なし	1 提供実績あり	2 提供実績なし	①	②	③	④	点字・書字・読字・手話・触手話・コミュニケーション機器によるコミュニケーション訓練 教養・学習支援(日常生活を送る上で必要な知識や制度関連情報の習得) スポーツ・レクリエーション(野外活動や季節行事等) 住環境の調整(住居の確保、住宅改修等の助言・調整) その他理学療法 その他作業療法 その他言語療法	1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3	1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3
通	問	通所	訪問													
1 提供実績あり	2 提供実績なし	1 提供実績あり	2 提供実績なし													
①	②	③	④													
理学療法士、作業療法士、機能訓練指導員の実人数(5月末日現在) ※複数資格保有の場合、左の職種に優先して記入	理学療法士	作業療法士	看護師	柔道整復師	あん摩マッサージ指圧師	言語聴覚士	その他									
常勤	人	人	人	人	人	人	人									
非常勤	人	人	人	人	人	人	人									
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし															
送迎加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし															
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	多機能型事業所等による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者	新規指定事業所による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者												
常勤	人	人	人	人												
非常勤	人	人	人	人												

発達障害者の利用 (5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。
発達障害者の実人数	人		
特別な職員の配置 (複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない		
高次脳機能障害者の利用 (5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人		
急病等により利用予定日の前々日、前日、当日に利用中止の連絡があった者の延べ人数(5月中)	人 →うち、欠席時対応加算を算定した延べ回数: ()回		

■■■調査は以上で終わります。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人					
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)	人					
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)	人					
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人					
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人					
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人					
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人					
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人					
	ネブライザー	人	洗腸	人					
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人					
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人					
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人					
中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人								
うち、1日1人当たりの たんの吸引の平均回数		回							
うち、施設・事業所が送迎した者の延べ人数(5月中の実績)	人	1回あたりの平均送迎者数	人	送迎を行った日数	日				
うち、施設入所支援を利用している者	人								
うち、宿泊型自立訓練を利用している者	人 →うち、同一法人(実質的同一経営を含む)が実施している宿泊型自立訓練を利用している者:()人								
延利用者数(5月中)	人								
居宅への訪問(5月中)	1 実績あり 2 実績なし								
支援時間別延訪問回数	～30分未満	30分～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上～2時間未満	2時間以上～2時間30分未満	2時間30分以上～3時間未満	3時間超		
	人	人	人	人	人	人	人		
利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり 2 入院なし 3 把握していない								
従業者が病院または診療所を訪問し、入院期間中の被服等の準備や利用者の相談支援など日常生活上の支援を行うとともに、退院後の円滑な生活移行が可能となるよう、病院または診療所の連絡調整を行ったケースの有無 入院日数の合計別ケース数 日以下 日以上 ケース ケース									
生活訓練の実施状況(5月中の実績) ※各項目該当する数字に○	通所 1 提供実績あり 2 提供実績なし 3 提供体制なし 訪問 1 提供実績あり 2 提供実績なし 3 提供体制なし	【記入例】			① 2 3	1 2 ③	地域生活のルール(安全管理)、マナーの習得訓練	1 2 3	1 2 3
		生活リズムの確立訓練			1 2 3	1 2 3	適切な人間関係の構築を図るための習得訓練	1 2 3	1 2 3
		食事、排泄等の基本動作の習得訓練			1 2 3	1 2 3	衝動欲求、ストレス対処に関する訓練	1 2 3	1 2 3
		着脱衣、洗面、身だしなみ等の身辺対処の習得訓練			1 2 3	1 2 3	交通機関、金融機関、役所などの公共機関の活用訓練	1 2 3	1 2 3
		洗濯、調理、買い物、掃除などの日常生活関連対処の習得訓練			1 2 3	1 2 3	家族間調整、家族に対する支援	1 2 3	1 2 3
		受診、服薬、疾病、栄養管理など健康対処の習得訓練			1 2 3	1 2 3	他施設利用、就労移行などの調整支援	1 2 3	1 2 3
生活支援員の 実人数 (5月末日現在) ※複数資格保有の場合、 左の職種に優先して記入	常勤	人	人	人	人	人	人	人	
	非常勤	人	人	人	人	人	人	人	
食事提供体制加算の 算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし								
送迎加算の算定 (5月中)	1 算定あり 2 算定なし								
要件が経過措置対象 となっているサービス 管理責任者の実人数 (5月末日現在)		多機能型事業所等による 経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を 理由に未受講の者	新規指定事業所による 経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を 理由に未受講の者				
		人	人	人	人				
		人	人	人	人				

発達障害者の利用 (5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。
発達障害者の実人数	人		
特別な職員の配置 (複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない		
高次脳機能障害者の利用 (5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人		
急病等により利用予定日の前々日、前日、当日に利用中止の連絡があった者の延べ人数(5月中)	人 →うち、欠席時対応加算を算定した延べ回数: ()回		

■■■調査は以上で終わります。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人				
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(I度・II度)	人				
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(III度・IV度)	人				
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人				
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人				
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人				
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人				
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人				
	ネブライザー	人	洗腸	人				
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人				
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人				
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人				
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人						
うち、1日1人当たりの たんの吸引の平均回数		回						
うち、施設・事業所が送迎した者の延べ人数(5月中の実績)	人	1回あたりの平均送迎者数	人	送迎を行った日数	日			
うち、日中、自立訓練(生活訓練)を利用している者	人 →うち、同一法人(実質的同一経営を含む)が実施している自立訓練(生活訓練)を利用している者:()人							
延利用者数(5月中)	人							
居宅への訪問(5月中)	1 実績あり 2 実績なし							
支援時間別延訪問回数	～30分未満	30分～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上～2時間未満	2時間以上～2時間30分未満	2時間30分以上～3時間未満	3時間超	
	人	人	人	人	人	人	人	
宿泊型生活訓練の実施状況(5月中の実績) ※各項目該当する数字に○	【記入例】	1 提供実績あり	2 提供実績ありがなし	3 提供体制なし	1 提供実績あり	2 提供実績ありがなし	3 提供体制なし	
	生活リズムの確立訓練	1	2	3	適切な人との関係の構築を図るための習得訓練	1	2	3
	食事、排泄等の基本動作の習得訓練	1	2	3	衝動欲求、ストレス対処に関する訓練	1	2	3
	着脱衣、洗面、身だしなみ等の身辺対処の習得訓練	1	2	3	交通機関、金融機関、役所などの公共機関の活用訓練	1	2	3
	洗濯、調理、買い物、掃除などの日常生活関連対処の習得訓練	1	2	3	家族間調整、家族に対する支援	1	2	3
	受診、服薬、疾病、栄養管理など健康対処の習得訓練	1	2	3	他施設利用、就労移行などの調整支援	1	2	3
	生活支援員の実人数(5月末日現在) ※複数資格保有の場合、左の職種に優先して記入	看護職員	介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	その他
	常勤	人	人	人	人	人	人	人
非常勤	人	人	人	人	人	人	人	
地域移行支援員の実人数(5月末日現在) ※複数資格保有の場合、左の職種に優先して記入	看護職員	介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	その他	
常勤	人	人	人	人	人	人	人	
非常勤	人	人	人	人	人	人	人	
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし							
送迎加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし							
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	多機能型事業所等による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者	新規指定事業所による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者				
	常勤	人	人	人	人	人	人	
非常勤	人	人	人	人	人	人	人	

発達障害者の利用 (5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。			
発達障害者の実人数	人					
特別な職員の配置 (複数回答可)	1 心理担当職員	2 理学療法士	3 作業療法士	4 言語聴覚士	5 その他職種	6 特別な配置はしていない
高次脳機能障害者の利用 (5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。			
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人					

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

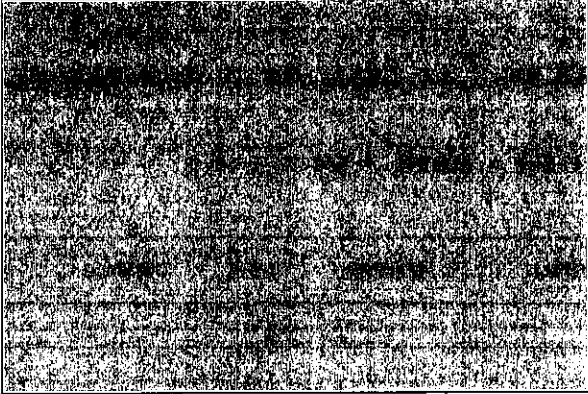
平成26年
障害福祉サービス等提供実態調査
【13 就労移行支援】

【調査に関するお問合せ先・調査票の返送先】
「平成26年障害福祉サービス等提供実態調査」事務局
(みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部)
〒190-8790 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館
TEL:0120-767-400(フリーダイヤル)
※受付時間 平日 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
FAX:0120-672-600(フリーダイヤル)
調査専用ホームページ: <https://www.h26-syogai-service.jp>

【提出期限】平成26年6月30日(月)
※同封の返信用封筒(切手不要)に回答調査票を入れて
投函して下さい。

住所・法人名・事業所名の確認	※このページの右上に貼り付けられたラベル記載の法人名、法人本部住所、事業所名、事業所住所に誤りがある場合、ラベルの訂正箇所(二重線を引く)に正しい情報を記載して下さい。			
調査票に関する問合せ電話	調査票に関する問合せFAX			
調査票に関する問合せ担当者氏名・メールアドレス	フリガナ a @	フリガナ b @	フリガナ c @	
法人設立年月	西暦()年()月	事業所設立年月	西暦()年()月	
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外) 4 医療法人 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 6 特定非営利活動法人(NPO) 7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等)			
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 同行援護 4 行動援護 5 療養介護 6 生活介護 7 短期入所 8 重度障害者等包括支援 9 施設入所支援 10 自立訓練(機能訓練) 11 自立訓練(生活訓練) 12 宿泊型自立訓練 13 就労移行支援 14 就労継続支援A型 15 就労継続支援B型 16 就労移行支援 17 地域相談支援 18 計画的相談支援 19 障害児相談支援 20 児童発達支援 21 医療型児童発達支援 22 放課後等デイサービス 23 保育所等訪問支援 24 福祉型障害児入所施設 25 医療型障害児入所施設 26 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 27 介護看護(医療保険、介護保険) 28 1~27にはない			
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設(※) 2 児童福祉施設 3 介護保険施設・事業所 4 1~3との併設はない (※)当該サービスが障害者支援施設として指定されている昼間実施サービスの場合を除く			
定員(5月末日現在)	人			
開所日数(5月中)	日			
実利用者数(5月中)	人			
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(I度・II度)	人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(III度・IV度)	人
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人
	ネブライザー	人	洗腸	人
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人		
うち、1日1人当たりの たんの吸引の平均回数	回			

うち、施設・事業所が送迎した者の延べ人数(5月中の実績)	人	1回あたりの平均送迎者数	人	送迎を行った日数	日	
延利用者数(5月中)	人					
利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり 2 入院なし 3 把握していない ↓ 1 あり 2 なし ↓ 入院日数の合計別ケース数 ※入院の初日・最終日を除いてカウントして下さい。					
	3日以下	4日以上				
	ケース	ケース				
就労作業品目(5月中)(複数回答可)	1 事業所内での下請・内職作業 →具体的に(複数回答可) [ア. 梱包・袋入れ等の軽作業 イ. 加工・組立作業 ウ. 名刺・チラシ等の印刷 エ. リサイクル作業 オ. クリーニング作業 カ. その他] 2 自主製品の製造販売 →具体的に(複数回答可) [ア. 食品加工 イ. 手芸・縫製品 ウ. 紙製品、印刷 エ. 木工、工芸品 オ. 環境、リサイクル カ. 農産品、草花 キ. その他] 3 事業所外での労務提供 →具体的に(複数回答可) [ア. 清掃 イ. 企業内作業 ウ. ポスティング・配達 エ. 植栽管理 オ. 接客 カ. その他] 4 飲食店、喫茶店等ショップ経営 5 その他()					
利用者の集団定期健康診断実施状況(平成25年度)	1 実績あり →実施回数:()回、延受診者数:()人、費用総額:()千円 2 実績なし					
ジョブコーチ有資格者の実人数(5月末日現在)	人					
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし					
送迎加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし					
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	多機能型事業所等による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者	新規指定事業所による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者		
常勤	人	人	人	人		
非常勤	人	人	人	人		
各年度における一般就労への移行者数	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
平成22～25年度における一般就労への移行者のうち、離職者数(就労期間別)	6ヶ月以下	1年以上6ヶ月以下	1年6ヶ月を超え2年以下	2年を超え5年6ヶ月以下	5年6ヶ月を超え3年3ヶ月以下	3年3ヶ月を超え4年以下
平成24年度に一般就労へ移行した者に対する定着支援に係る実施回数	来所	訪問	電話	その他		
一般就労への移行後に支援を行っている期間(平成24年度に移行した者を対象)	月後まで ※平成24年度の平均値					
一般就労への移行後の定期的な支援の有無	1 支援なし 2 一部の者に支援あり 3 全ての者に支援あり					
暫定支給決定で利用した者のうち、当該サービスの利用にならなかった者とその行き先(平成25年度)	フルタイム就労(一般)	人	アルバイト・パートタイム(一般)	人		
	フルタイム就労(障害者雇用)	人	アルバイト・パートタイム(障害者雇用)	人		
	精神障害者ステップアップ雇用、障害者試行雇用、委託訓練	人	他の就労移行支援	人		
	就労継続支援A型	人	就労継続支援B型	人		
	その他の障害福祉サービス	人	その他	人		
施設外支援の数(平成25年度)	回		施設外就労の数(平成25年度)	回		
利用終了者の行き先(平成25年度)	フルタイム就労(一般)	人	アルバイト・パートタイム(一般)	人		
	フルタイム就労(障害者雇用)	人	アルバイト・パートタイム(障害者雇用)	人		
	精神障害者ステップアップ雇用、障害者試行雇用、委託訓練	人	就労継続支援A型	人		
	就労継続支援B型	人	その他の障害福祉サービス	人		
	その他	人				
サービス等利用計画の作成率(5月末日現在)	%					

発達障害者の利用 (5月中)	1 実績あり ↓		2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。	
発達障害者の実人数	人				
特別な職員の配置 (複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない				
高次脳機能障害者の利用 (5月中)	1 実績あり ↓		2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。	
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者：()人				
就労支援事業等活動収支 (平成25年度) ※調査対象サービス単体での記入が困難な場合、就労支援サービスの合算値を記入して下さい。	就労支援事業等活動収入			就労支援事業等活動支出	
	就労支援事業収入(授産事業収入)			就労支援事業販売原価	
	引当金戻入			期首製品(商品)たな卸高	
	国庫補助金等特別積立金取崩額			当期就労支援事業製造原価	
				材料費	
				労務費	
				外注加工費	
				経費	
				当期製品(商品)仕入高	
				期末製品(商品)たな卸高	
				販売費及び一般管理費	
				徴収不能額	
			引当金繰入		
急病等により利用予定日の前々日、前日、当日に利用中止の連絡があった者の延べ人数(5月中)			人 →うち、欠席時対応加算を算定した延べ回数：()回		
継続して利用する者が連続して5日間利用しなかった時に、職員が居宅を訪問して相談援助を行った延べ回数(5月中)			回 →うち、訪問支援特別加算を算定した延べ回数：()回		

■■■調査は以上で終わります。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

平成26年
障害福祉サービス等提供実態調査
【14 就労継続支援A型】

【調査に関するお問合せ先・調査票の返送先】
「平成26年障害福祉サービス等提供実態調査」事務局
(みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部)
〒190-8790 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館
TEL:0120-767-400(フリーダイヤル)
※受付時間 平日 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
FAX:0120-672-600(フリーダイヤル)
調査専用ホームページ: <https://www.h26-syogai-service.jp>

【提出期限】平成26年6月30日(月)
※同封の返信用封筒(切手不要)に回答調査票を入れて
投函して下さい。

住所・法人名・事業所名の確認	※このページの右上に貼り付けられたラベル記載の法人名、法人本部住所、事業所名、事業所住所に誤りがある場合、ラベルの訂正箇所にて二重線を引き、正しい情報を記載して下さい。				
調査票に関する問合せ電話	—		調査票に関する問合せFAX	—	
調査票に関する問合せ担当者氏名・メールアドレス	フリガナ a @	フリガナ b @	フリガナ c @		
法人設立年月	西暦()年()月		事業所設立年月	西暦()年()月	
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外) 4 医療法人 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 6 特定非営利活動法人(NPO) 7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等)				
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 同行援護 4 行動援護 5 療養介護 6 生活介護 7 短期入所 8 重度障害者等包括支援 9 施設入所支援 10 自立訓練(機能訓練) 11 自立訓練(生活訓練) 12 宿泊型自立訓練 13 就労移行支援 14 就労継続支援A型 15 就労継続支援B型 16 就労継続支援C型 17 地域相談支援 18 計画的相談支援 19 障害児相談支援 20 児童発達支援 21 医療型児童発達支援 22 放課後等デイサービス 23 保育所等訪問支援 24 福祉型障害児入所施設 25 医療型障害児入所施設 26 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 27 介護(医療保険、介護保険) 28 1～27にはない				
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設 2 児童福祉施設 3 介護保険施設・事業所 4 1～3との併設はない				
定員(5月末日現在)	人				
開所日数(5月中)	日				
実利用者数(5月中)	人 →うち、雇用契約を締結している者:()人				
療育手帳の状況別	最重度・OA・A1・1度	重度・A・A2・2度	中度・B・B1・3度	軽度・C・B2・4度	なし
精神保健福祉手帳の状況別	1級	2級	3級	なし	
障害基礎年金の受給状況別	1級	2級	なし		

うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人			
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)	人			
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)	人			
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人			
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人			
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人			
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人			
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人			
	ネブライザー	人	洗腸	人			
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人			
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人			
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人			
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人					
	うち、1日1人当たりの たんの吸引の平均回数		回				
うち、施設・事業所が送迎した者の延べ人数(5月中の実績)		人	1回あたりの平均送迎者数	人			
うち、施設入所支援を利用している者		1 いり ↓ 2 いない	送迎を行った日数				
入所期間、障害支援区分、年齢階級の状況	当該施設への入所期間 5年以下	障害支援区分	18歳未満	18歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上
		区分1	人	人	人	人	人
		区分2	人	人	人	人	人
		区分3	人	人	人	人	人
		区分4	人	人	人	人	人
		区分5	人	人	人	人	人
		区分6	人	人	人	人	人
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人
	5年超10年以下	区分1	人	人	人	人	人
		区分2	人	人	人	人	人
		区分3	人	人	人	人	人
		区分4	人	人	人	人	人
		区分5	人	人	人	人	人
		区分6	人	人	人	人	人
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人
		10年超	区分1	人	人	人	人
	区分2		人	人	人	人	人
	区分3		人	人	人	人	人
	区分4		人	人	人	人	人
	区分5		人	人	人	人	人
	区分6		人	人	人	人	人
	非該当・その他(認定中等)		人	人	人	人	人
	うち、ハローワークから紹介を受けた者						
	利用前の所属先(サービスの利用状況等)(5月末日時点)	就労移行支援	人	就労継続支援A型	人		
		就労継続支援B型	人	共同生活援助(介護サービス包括型、旧共同生活介護を含む)	人		
		共同生活援助(外部サービス利用型)	人	宿泊型自立訓練	人		
		障害児入所施設	人	指定医療機関	人		
		その他	人				

時間別・障害種別の利用者数 (5月25日～31日の1週間の実績)	週 5時間未満	週 5時間以上 10時間未満	週 10時間以上 15時間未満	週 15時間以上 20時間未満	週 20時間以上 25時間未満	週 25時間以上 30時間未満	週 30時間以上 35時間未満	週 35時間以上															
身体障害	人	人	人	人	人	人	人	人															
知的障害	人	人	人	人	人	人	人	人															
精神障害	人	人	人	人	人	人	人	人															
重複障害	人	人	人	人	人	人	人	人															
難病等	人	人	人	人	人	人	人	人															
延利用者数(5月中)	人 →うち、雇用契約を締結している者:()人																						
利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり 2 入院なし 3 把握していない ↓ 1 あり 2 なし ↓ 入院日数の合計別ケース数 ※入院の初日・最終日を除いてカウントして下さい。 3日以下 4日以上																						
就労作業品目 (5月中) (複数回答可)	1 事業所内での下請・内職作業 →具体的に(複数回答可) [ア. 梱包・袋入れ等の軽作業 イ. 加工・組立作業 ウ. 名刺・チラシ等の印刷 エ. リサイクル作業 オ. クリーニング作業 カ. その他] 2 自主製品の製造販売 →具体的に(複数回答可) [ア. 食品加工 イ. 手芸・縫製品 ウ. 紙製品、印刷 エ. 木工、工芸品 オ. 環境、リサイクル カ. 農産品、草花 キ. その他] 3 事業所外での労務提供 →具体的に(複数回答可) [ア. 清掃 イ. 企業内作業 ウ. ポスティング・配達 エ. 植栽管理 オ. 接客 カ. その他] 4 飲食店、喫茶店等ショップ経営 5 その他()																						
利用者の集団定期健康診断実施状況(平成25年度)	1 実績あり →実施回数:()回、延受診者数:()人、費用総額:()千円 2 実績なし																						
ジョブコーチ有資格者の実人数(5月末日現在)	人																						
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし																						
送迎加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし																						
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>多機能型事業所等による経過措置(研修未受講者)</th> <th>うち、研修の定員超過を理由に未受講の者</th> <th>新規指定事業所による経過措置(研修未受講者)</th> <th>うち、研修の定員超過を理由に未受講の者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>									多機能型事業所等による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者	新規指定事業所による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者	常勤	人	人	人	人	非常勤	人	人	人	人
	多機能型事業所等による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者	新規指定事業所による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者																			
常勤	人	人	人	人																			
非常勤	人	人	人	人																			
各年度における一般就労への移行者数	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																
	人		人		人		人																
平成22～25年度における一般就労への移行者のうち、離職者数(就労期間別)	6ヶ月以下	6ヶ月超 1年以下	1年超 1年6ヶ月以下	1年6ヶ月超 2年以下	2年超 2年6ヶ月以下	2年6ヶ月超 3年以下	3年超 3年6ヶ月以下	3年6ヶ月超 4年以下															
	人	人	人	人	人	人	人	人															
サービス等利用計画の作成率(5月末日現在)	%																						
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。																						
発達障害者の実人数	人																						
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない																						
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。																						
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人																						

就労支援事業等活動 収支(平成25年度) ※調査対象サービス 単体での記入が困難 な場合、就労支援サ ービスの合算値を記入し て下さい。	就労支援事業等活動収入		就労支援事業等活動支出	
	就労支援事業収入(授産事業収入)		就労支援事業販売原価	
	引当金戻入		期首製品(商品)たな卸高	
	国庫補助金等特別積立金取崩額		当期就労支援事業製造原価	
			材料費	
			労務費	
			外注加工費	
			経費	
			当期製品(商品)仕入高	
			期末製品(商品)たな卸高	
			販売費及び一般管理費	
	徴収不能額			
	引当金繰入			
急病等により利用予定日の前々日、前日、当日に利用中止の連絡があつた者の延べ人数(5月中)		人 →うち、欠席時対応加算を算定した延べ回数: ()回		
継続して利用する者が連続して5日間利用しなかった時に、職員が居宅を訪問して相談援助を行った延べ回数(5月中)		回 →うち、訪問支援特別加算を算定した延べ回数:()回		

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

**平成26年
障害福祉サービス等提供実態調査
【15 就労継続支援B型】**

【調査に関するお問合せ先・調査票の返送先】
「平成26年障害福祉サービス等提供実態調査」事務局
(みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部)
〒190-8790 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館
TEL:0120-767-400(フリーダイヤル)
※受付時間 平日 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
FAX:0120-672-600(フリーダイヤル)
調査専用ホームページ: <https://www.h26-syogai-service.jp>

【提出期限】平成26年6月30日(月)
※同封の返信用封筒(切手不要)に回答調査票を入れて
投函して下さい。

住所・法人名・事業所名の確認	※このページの右上に貼り付けられたラベル記載の法人名、法人本部住所、事業所名、事業所住所に誤りがある場合、ラベルの訂正箇所にも二重線を引き、正しい情報を記載して下さい。				
調査票に関する問合せ電話	—		調査票に関する問合せFAX	—	
調査票に関する問合せ担当者氏名・メールアドレス	フリガナ a @	フリガナ b @	フリガナ c @		
法人設立年月	西暦()年()月		事業所設立年月	西暦()年()月	
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 4 医療法人 7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等) 2 社会福祉協議会 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外) 6 特定非営利活動法人(NPO)				
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 11 自立訓練(生活訓練) 21 医療型児童発達支援 2 重度訪問介護 12 宿泊型自立訓練 22 放課後等デイサービス 3 同行援護 13 就労移行支援 23 保育所等訪問支援 4 行動援護 14 就労継続支援A型 24 福祉型障害児入所施設 5 療養介護 15 就労継続支援B型 25 医療型障害児入所施設 6 生活介護 16 児童発達支援 26 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 7 短期入所 17 地域相談支援 27 看護(医療保険、介護保険) 8 重度障害者等包括支援 18 計画的相談支援 28 1～27にはない 9 施設入所支援 19 障害児相談支援 10 自立訓練(機能訓練) 20 児童発達支援				
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設(※) 4 1～3との併設はない 2 児童福祉施設 (※)当該サービスが障害者支援施設として指定されている昼間実施サービスの場合を除く 3 介護保険施設・事業所				
定員(5月末日現在)	人				
開所日数(5月中)	日				
実利用者数(5月中)	人 →うち、雇用契約を締結している者:()人				
療育手帳の状況別	最重度・OA・A1・1度	重度・A・A2・2度	中度・B・B1・3度	軽度・C・B2・4度	なし
精神保健福祉手帳の状況別	1級	2級	3級	なし	
障害基礎年金の受給状況別	1級	2級	なし		

うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人				
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)	人				
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)	人				
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人				
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人				
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人				
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人				
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人				
	ネブライザー	人	洗腸	人				
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人				
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人				
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人				
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人						
うち、1日1人当たりの たんの吸引の平均回数		回						
うち、施設・事業所が送迎した者の延べ人数(5月中の実績)		人	1回あたりの平均送迎者数	人				
うち、施設入所支援を利用している者		1 いる	2 いない					
入所期間、障害支援区分、年齢階級の状況	当該施設への入所期間	障害支援区分	18歳未満	18歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上65歳未満	65歳以上	
			区分1	人	人	人	人	人
			区分2	人	人	人	人	人
			区分3	人	人	人	人	人
			区分4	人	人	人	人	人
			区分5	人	人	人	人	人
			区分6	人	人	人	人	人
			非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人
			5年以下	区分1	人	人	人	人
	区分2	人		人	人	人	人	
	区分3	人		人	人	人	人	
	区分4	人		人	人	人	人	
	区分5	人		人	人	人	人	
	区分6	人		人	人	人	人	
	非該当・その他(認定中等)	人		人	人	人	人	
	5年超10年以下	区分1		人	人	人	人	人
		区分2		人	人	人	人	人
		区分3	人	人	人	人	人	
		区分4	人	人	人	人	人	
		区分5	人	人	人	人	人	
		区分6	人	人	人	人	人	
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人	
		10年超	区分1	人	人	人	人	人
			区分2	人	人	人	人	人
	区分3		人	人	人	人	人	
	区分4		人	人	人	人	人	
	区分5		人	人	人	人	人	
区分6	人		人	人	人	人		
非該当・その他(認定中等)	人		人	人	人	人		
年齢別の状況(5月中)	18歳未満	18歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上65歳未満	65歳以上			
	人	人	人	人	人			
在籍年数(5月中)	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上			
	人	人	人	人	人			
延利用者数(5月中)		人						

利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり 2 入院なし 3 把握していない ↓ 1 あり 2 なし ↓ 入院日数の合計別ケース数 ※入院の初日・最終日を除いてカウントして下さい。			
	3日以下	4日以上		
	ケース	ケース		
就労作業品目 (5月中) (複数回答可)	1 事業所内での下請・内職作業 →具体的に(複数回答可) [ア. 梱包・袋入れ等の軽作業 イ. 加工・組立作業 ウ. 名刺・チラシ等の印刷 エ. リサイクル作業 オ. クリーニング作業 カ. その他] 2 自主製品の製造販売 →具体的に(複数回答可) [ア. 食品加工 イ. 手芸・縫製品 ウ. 紙製品・印刷 エ. 木工・工芸品 オ. 環境・リサイクル カ. 農産品・草花 キ. その他] 3 事業所外での労務提供 →具体的に(複数回答可) [ア. 清掃 イ. 企業内作業 ウ. ポスティング・配達 エ. 植栽管理 オ. 接客 カ. その他] 4 飲食店、喫茶店等ショップ経営 5 その他()			
利用者の集団定期健康診断実施状況(平成25年度)	1 実績あり →実施回数:()回、延受診者数:()人、費用総額:()千円 2 実績なし			
ジョブコーチ有資格者の実人数(5月末日現在)	人			
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし			
送迎加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし			
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	多機能型事業所等による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者	新規指定事業所による経過措置(研修未受講者)	うち、研修の定員超過を理由に未受講の者
常勤	人	人	人	人
非常勤	人	人	人	人
各年度における一般就労への移行者数	平成22年度		平成23年度	
	人		人	
平成22～25年度における一般就労への移行者のうち、離職者数(就労期間別)	6ヶ月以下	6ヶ月超1年以下	1年超1年6ヶ月以下	1年6ヶ月超2年以下
	人	人	人	人
サービス等利用計画の作成率(5月末日現在)	%			
就職活動支援の有無	1 就職活動支援あり 2 就職活動支援なし			
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。			
発達障害者の実人数	人			
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない			
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。			
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人			
就労支援事業等活動収支(平成25年度) ※調査対象サービス単体での記入が困難な場合、就労支援サービスの合算値を記入して下さい。	就労支援事業等活動収入		就労支援事業等活動支出	
	就労支援事業収入(授産事業収入)		就労支援事業販売原価	
	引当金展入		期首製品(商品)たな卸高	
	国庫補助金等特別積立金取崩額		当期就労支援事業製造原価	
			材料費	
			労務費	
			外注加工費	
			経費	
			当期製品(商品)仕入高	
			期末製品(商品)たな卸高	
		販売費及び一般管理費		
		徴収不能額		
		引当金繰入		

急病等により利用予定日の前々日、前日、当日に利用中止の連絡があった者の延べ人数(5月中)	人 →うち、欠席時対応加算を算定した延べ回数: ()回
継続して利用する者が連続して5日間利用しなかった時に、職員が居宅を訪問して相談援助を行った延べ回数(5月中)	回 →うち、訪問支援特別加算を算定した延べ回数:()回

■■■調査は以上で終わります。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample